



■「賃上げの重要性」を社会で共有

2025年を振り返ると、物価高の長期化や原材料価格の上昇、

円安の進行により、家内容や雇用のあり方など、持続的な賃金引上す。

計や企業活動が圧迫され、生活のさまざまな用や倫理面での課題も場面での負担が増大した。明らかに年でもありました。

また、生さらに、賃上げの重この気運を確固たる

「賃金は上がる」

ノルムの定着を

成AIの普及が急速に要性が社会全体で改め、2026年春季交渉は、賃金と生産性の関係を再構築するうえで、極め金引上げを未来につな

がる「一人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい

「人への投資こそ成長の源泉である」とい